

## II-決算

97 金利に関して述べた以下の文章の括弧内に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものは次のうちどれか。

「金利には、金融機関同士の短期間の資金の貸し借りで適用する（ A ）、中央銀行が民間金融機関に貸付ける際に適用する基準金利である（ B ）、民間金融機関が企業に資金を貸付ける際の最優遇貸出金利である（ C ）などのさまざまな種類がある。」

- a) A : プライムレート B : コールレート  
C : 基準割引率および基準貸付利率
- b) A : 基準割引率および基準貸付利率 B : プライムレート  
C : コールレート
- c) A : コールレート B : 基準割引率および基準貸付利率  
C : プライムレート
- d) A : プライムレート B : 基準割引率および基準貸付利率  
C : コールレート

98 月次決算を実施するにあたり、月割経費（減価償却費、賃借料、保険料等）の計算を誤るリスクに対するコントロールについて、下記の（ ）内に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

「当期計上額算定の算定根拠となる（ A ）と（ B ）を突合し、金額が正しいことを確認する。」

- a) A : 見積書 B : 月次予算
- b) A : 見積書 B : 仕訳伝票
- c) A : 証憑書類等 B : 月次予算
- d) A : 証憑書類等 B : 仕訳伝票

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：c

金利には様々な種類があり、本問に関しては以下の通りとなる。

- ・コールレート：金融機関同士の短期間の資金の貸し借りに適用される金利
- ・基準割引率および基準貸付率：中央銀行が民間金融機関に貸付ける際に適用する基準金利
- ・プライムレート：民間金融機関が企業に資金を貸付ける際の最優遇貸出金利

したがって、正解は (c) となる。

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：d

月次決算にあたり減価償却費や賃借料、保険料など月割経費の計算を誤るリスクを回避するための手続き（コントロール）としては、該当する各取引に関する対象期間や算定方法などが記された証憑書類と計上のための仕訳伝票の内容を十分に突き合わせる必要がある。一方、見積書上に記載されている数値等は必ずしも実取引内容と一致しているとは限らないの。

したがって、正解は (d) となる。